



麗澤大学

汎用的能力

【学生用】

麗澤大学の汎用的能力

3つのチカラ／12の能力要素／24の構成要素の一覧表

		能力要素	能力要素の意味	構成要素
知識を チカラ 活用する	1	知的な好奇心	興味を持つ、疑問に思う、なぜだろうと思い、調べたりする力	社会を観察する 情報分析する
	2	本質を理解する力	持続可能な社会の実現のため、現状の課題に対して、必要な情報を集め、分析する力、様々な角度から検討する力	情報収集 本質理解
	3	論理的に考える力	物事を論理的に考え、自分の言葉で説明する力	分類思考 ロジカルライティング
人に対する チカラ	4	多様性を理解する力	国籍、言語、年齢を問わず、自分の価値観に固執することなく、異なる価値観、異なる文化を素直に受け止める力	異文化理解 多様性理解
	5	チームワークよく成し遂げる力	他人を責めることなく協調性ある行動をとる ことによって、和を重んじ、たとえいさかいが 生じても、話し合いによって前向きに対処する力	相互支援 役割意識
	6	様々な人と対話する力	相手の意見や考えを受け止める一方で、自 分の意志や考えをわかりやすく相手に 伝え、年齢の違う人、国籍の違う人とでも言葉の 壁を乗り越えて対話する力	話し合う 情報共有
	7	他者の立場と痛みを感じる力	自ら親しみやすい雰囲気を作り、他者の立 場を理解し思いやる力	親しみやすさ 気配り
	8	意志や情報を発信する力	自己の社会的責任を果たす上で、集団の中 で他者の意見に耳を傾けつつ、自 分の意見 をきちんと主張する力	建設的・創造的な討議 意見を主張する
自分と課題に チカラ 向き合う	9	自ら行動する力	目標を設定し、目標達成に向けて、多少困 難であっても、進んで行動しあきらめ ず、最 後までやりきる力	主体的行動 行動を起こす
	10	自己を受け止める力	自分を肯定的に受け止め、行動に変えて行 く力	セルフアウェアネス 独自性理解
	11	自己反省する力	それまでの経験を振り返り、自分自身を見つめ、将来への指針を導き出す力	謙虚さと誇り 遵法性・社会性
	12	自信を生み出す力	ストレスや感情をコントロールし、自分に自信を持つ力	ストレスコーピング 自己効力感/楽観的思考

麗澤大学の汎用的能力

知識を活用するチカラ

会社等では問題意識を持った人材を求めている、という言い方をしますが、問題意識の一番の出発点は知的好奇心を持つことである。今の世の中には、様々な情報、データがあふれているが、それらを鵜呑みにせず「本当だろうか？」と疑問を持つことや、なぜ？ どうして？ を繰り返しながら、理由や原因を探索して行くことによって、新たな気づきが得られるもの。まずは、自分の好きな領域で興味関心を持つことから始めることが大事である。

汎用的能力_知識を活用するチカラ

能力要素	1. 知的好奇心		2. 本質を理解する力		3. 論理的に考える力	
構成要素	社会を観察する	情報分析する	情報収集	本質理解	分類思考	ロジカルライティング
能力の意味	興味を持つ、疑問に思う、なぜだろうと 思い、調べたりする力		持続可能な社会の実現のため、現状 の課題に対して、必要な情報を集め、 分析する力、様々な角度から検討する 力		物事を論理的に考え、自分の言葉で 説明する力	
大学の授業で 身につけられる 場面	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業やゼミで学んだ視点や知識を使ってTVや新聞のニュースや記事 を注意深く見る。 ● 社会問題はどのような背景がある のか、今、何が問題なのかを自分 なりに把握して、それに対してどの ような解決策があるのか、世の中は どう対応しているのか、それに対し てどういう課題が残っているのか、 将来の展望はなにか、など考察す る。 ● 調査や結果から導き出されたことを 自分の言葉で表現する。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 大学の学部学科の教養科目、専門 科目の授業を前向きに受ける。 ● 出された課題について、はじめはで きなくても、先生や周囲の人に聞き、 アドバイスをもらうなどして、情報 を集める。 ● ウィキペディアだけでなく、図書館、 先行研究などを紐解くなどして、 様々な意見を収集する。 ● 自分の意見を導き出す。 ● 卒業研究、論文を書き上げる(過程 を体験する)。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 大学の授業はすべて、この力を養 うことができる。 ● 論理的思考手法を意図的に学ぶ。 演繹法／帰納法／ロジックツリ／K J法などを意図的に学び、レポート や発表で使用してみる。 ● 統計学の科目を履修し、定量的に 物事を語れるように訓練してみる。 大体、こんな感じ、おおざっぱに答 えを出すのではなく、物事を数値化 し、客観的に答えを導き出してみる。 	

どんな場面で身につけるか、計画を立ててみよう

汎用的能力_知識を活用するチカラ

能力要素	1. 知的好奇心		2. 本質を理解する力		3. 論理的に考える力	
構成要素	社会を観察する	情報分析する	情報収集	本質理解	分類思考	ロジカルライティング
能力の意味	興味を持つ、疑問に思う、なぜだろうと思ひ、調べたりする力		持続可能な社会の実現のため、現状の課題に対して、必要な情報を集め、分析する力、様々な角度から検討する力		物事を論理的に考え、自分の言葉で説明する力	
大学の活動等で身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> 寮生活において 同じユニットにいる留学生の国柄、言語を文献などを使い、調べてみる。生活習慣の違いや言語の思いがけない言い回し、使ってはいけない言葉や動作を調べておき、それを同じ寮生にも伝えたりする。 リーダーとして 後輩を多数、束ねる身として、部活動、サークルの活動戦略を立てるために、戦略立案の文献を読んでみる。後輩たちを統率していくためにマネジメントの文献を調べてみる。 その他 少しでも興味がわいたことについて、一見、学科や専攻に結びついていなくても、文献や美術館、博物館、劇場に足を運んでみる。 		<ul style="list-style-type: none"> 寮生活において 麗澤大学の寮生活の意義、学祖の寮生活への思いなどを改めて、調べてみる。麗澤教育の寮生活の興味をきちんと語れるようにする。後輩や留学生から「あの掛け軸の言葉の意味は何ですか？」という問いに答えられるようにしておく。 リーダーとして 部活動やサークル、委員会は、これまで長い歴史の上に成り立っている。過去の諸先輩方の成果を改めて調べ、学び、この活動の真意を提示し、次を担う後輩に伝えていく。そういった勉強会や機会を設けてみる。 		<ul style="list-style-type: none"> リーダーとして 体育会系クラブであっても、勝つためのフォーメーションを考えることや、練習や合宿のメニューの企画、試合前後の行動などをロジカルに考える。 その他 コンビニや飲食店のアルバイトでも、「どうやったら売れるのか」という観点から現状分析し、「こうしたら売れる」という推論を行い、実行し、結果や成果を確認し、次につなげて行く。 	

どんな場面で身につけるか、計画を立ててみよう

麗澤大学の汎用的能力

人に対するチカラ

現在、日本企業はいやおうなしにグローバル化している。大手企業は着実に外国人の採用を増やしている。今後、グローバル化の流れが逆流することはないと言える。そのため、大手企業のみならず、中堅、中小企業にもグローバル化の波が及んでいる。グローバル化は、外国語の修得や異文化の理解だけではなく、「垣根なく、多様な」人に対する関係性を作り、維持できるかどうか、であり、まさに「人に対するチカラ」が求められている。

汎用的能力_人に対するチカラ

能力要素	4. 多様性を理解する力		5. チームワークよく成し遂げる力		6. 様々な人と対話する力	
構成要素	異文化理解	多様性理解	相互支援	役割意識	話し合う	情報共有
能力の意味	国籍、言語、年齢を問わず、自分の価値観に固執することなく、異なる価値観、異なる文化を素直に受け止める力		他人を責めることなく協調性ある行動をとることによって、和を重んじ、たとえいさかいが生じても、話し合いによって前向きに対処する力		相手の意見や考えを受け止める一方で、自分の意志や考えをわかりやすく相手に伝え、年齢の違う人、国籍の違う人とでも言葉の壁を乗り越えて対話する力	
大学の授業で身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> ● 語学の授業での外国人との対話を通して、文化、風習、価値観を学ぶ。 ● たとえ短期留学であっても、事前に学習目標を立て、外国人と触れ合うこと。 ● グループやチームで意見が食い違い、まとまりにくくなったときなど、積極的に発言し、対話を通じて理解を深める。 		<ul style="list-style-type: none"> ● グループワークや共同自主研究、プロジェクト研究などの活動で学ぶ。 ● ゼミの活動、授業でのグループ発表など集団での活動で、積極的に主体的に参加する。 		<ul style="list-style-type: none"> ● はじめての人とでも自ら進んで対話すること、またディベートに積極的に参加すること、授業で発言したり、ゼミ活動に積極的に参加することで向上させられる。 	

どんな場面で身に付けるか、計画を立ててみよう

汎用的能力_人に対するチカラ

能力要素	4. 多様性を理解する力		5. チームワークよく成し遂げる力		6. 様々な人と対話する力	
構成要素	異文化理解	多様性理解	相互支援	役割意識	話し合う	情報共有
能力の意味	国籍、言語、年齢を問わず、自分の価値観に固執することなく、異なる価値観、異なる文化を素直に受け止める力		他人を責めることなく協調性ある行動をとることによって、和を重んじ、たとえばいさかいが生じても、話し合いによって前向きに対処する力		相手の意見や考えを受け止める一方で、自分の意志や考えをわかりやすく相手に伝え、年齢の違う人、国籍の違う人とでも言葉の壁を乗り越えて対話する力	
大学の活動で身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> ● その他 他大学の学生とのディスカッション、ワークショップに積極的に参加する。学祭等、積極的に他大学のイベントに参加して、同じ学生として、どのように行動し、考えているのかを調べてみる。 ● 寮生活において ユニットの中で、孤立していたり、掃除や寮活動に参加しない寮生の話を聞き、なぜそう思うのか、どのような状態なら寮生活を実り多い生活にできるのか、話し合ってみる。また国際問題への考え方について、どう扱いか、留学生に対して、どのように伝えるか、国の実情を踏まえ、否定せずに受け止めるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ● リーダーとして クラブ活動、学校主催のプロジェクト活動、チーム対抗のディベート、模擬国連、正課外の活動でも目的を持って参加する。 ● 寮生活において ルールをきちんと知る。また寮生にも遂行させるにはどうしたらいいかを考える。先輩。後輩に関係なく、ルールを守る習慣や考え方について考える。 ● その他 アルバイト先でもチームとして仕事をするように意識してみる。頼まれた業務をどのようにすれば効率的かつ効果的に進められるかをチームで対処するように主体的に考える。 		<ul style="list-style-type: none"> ● その他 同年代の人たちとの日常会話ではなく、年齢の違う社会人、学外の企業人、研究者といった人たちと積極的に対話すること、議論する。早い学年からインターンシップに参加してみるのも対話力アップできる。 ● 寮生活において 礼節をわきまえたうえで、先輩の話を聞く機会を作る。勉強や履修の方法など、経験のある先輩に助言を求めることは、一人で悶々と考える要理も効果的である。世界各国から来ている留学生と積極的に会話や活動を試みる。考え方の違いや言葉の違いを実体験する機会を逃さない。 	

どんな場面で身につけるか、計画を立ててみよう

汎用的能力_人に対するチカラ

能力要素 構成要素	7. 他者の立場と痛みを感じる力		8. 意志や情報を発信する力	
	親しみやすさ	気配り	建設的・創造的な討議	意見を主張する
能力の意味	自ら親しみやすい雰囲気を作り、他者の立場を理解し思いやる力		自己の社会的責任を果たす上で、集団の中で他者の意見に耳を傾けつつ、自分の意見をきちんと主張する力	
大学の授業で 身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業の中で行われるグループワーク、ディスカッションの参加者のことを、知ろうと努力する。 ● 自分が理解した内容を、他者と共有する。たとえ違っていても、修正すればよい。 ● 発表の準備などで意見が割れてしまっても建設的に討議をするように心がける。 ● 「それは違うよ」「わかっていないな」等の相手を否定する伝え方は、ディスカッションの中で使わないように心がける。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 論文を読む、文献を読むなど多読すること、精読することで語彙力も高める。 ● 授業などで発表する(プレゼンの準備、プレゼン)を行う。 ● レポートを書くこと、授業やゼミで積極的に発表する。 ● 年1回は振り返りの時間を持ち、学んだことや、1年後の目標を設定するなど。 	

どんな場面で身につけるか、計画を立ててみよう

汎用的能力_人に対するチカラ

能力要素	7. 他者の立場と痛みを感じる力		8. 意志や情報を発信する力	
構成要素	親しみやすさ	気配り	建設的・創造的な討議	意見を主張する
能力の意味	自ら親しみやすい雰囲気を作り、他者の立場を理解し思いやる力		自己の社会的責任を果たす上で、集団の中で他者の意見に耳を傾けつつ、自分の意見をきちんと主張する力	
大学の活動で身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> ● その他 ボランティア活動に参加する。人の良い面に目を向ける。自分が理解した内容を、他者と共有する。たとえ違っていても、修正すればよい。 ● リーダーとして 活動をやめたい、等、ネガティブな態度や志向になっている後輩や同期をほっとかない。話を聞いてみる。他者への相談を促してみる。 ● 寮生活において 日本に留学にきている留学生や初めての寮生活を体験している後輩など、心細さや不安など、想像している以上のストレスを感じている。相談しやすいように笑顔で接し、積極的に声をかけてみる。 		<ul style="list-style-type: none"> ● その他 SNSを使って、自分の考えや思いをアピールしてみる。アルバイトなどでも改善点ややり方の修正がある場合は積極的に、店長や、リーダー、職場の社員に伝えてみる。 ● リーダーとして 活動の方向性、目標を言葉にして、きちんと発言する。何を目標にやっていくのか、いつも語れるようにする。より良い成果や結果が出せるように常に考え、後輩や部員に伝えることもリーダーとしては大事な役目である。やり方を指導するだけではない。 	

どんな場面で身につけるか、計画を立ててみよう

麗澤大学の汎用的能力

自分と課題に向き合うチカラ

企業へのインタビューでは、期待することの中でもっとも要望が多いのが、「自ら行動する」という主体性である。麗澤大学の卒業生は高い評価を得ているため、今後も伸ばしていきたい力といえる。同じく、企業へのインタビューでは、自信を持つことができた学生は伸びる、というコメントが見られた。また、一方で、自分に自信がない学生が多いというお話も頂いている。社会で活躍する人材の要件に、「根拠のない自信」というものがある。大学在学期間中にいかにして、自信をつけさせるかも、大きなテーマであろう。

汎用的能力_自分と課題に向き合うチカラ

能力要素	9. 自ら行動する力		10. 自己を受け止める力	
構成要素	主体的行動	行動を起こす	セルフウェアネス	独自性理解
能力の意味	持続可能な社会に貢献するため、目標を設定し、目標達成に向けて、多少困難であっても、進んで行動しあきらめず、最後までやりきる力		自分を肯定的に受け止め、行動に変えて行く力	
大学の授業で身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> ● 少し難しいと思われる授業にあきらめず必死になってついていく。 ● 試験に合格することを目標に、授業での理解度がどの程度進んでいるのかを振り返り、着実に予習、復習を行う。 ● まず、一歩踏み出すこと。何事も踏み出してみても、その結果から学ぶ。 ● 自分にとって少し高いゴール(専門書を読み切る、原文読破にチャレンジする等)を目指し、必死になって達成を目指す。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 科目や授業で自分の興味ある勉強や科目をきちんと洗い出してみる。 ● 自分の不足している知識や課題も洗い出してみる。 ● 良い面に目を向け、得意な科目、知識習得を伸ばすことを念頭に、学習や学校生活の目標を立てる。 ● 過去の科目やから何を学んだかなども書きだしてみる。 	

どんな場面で身につけるか、計画を立ててみよう

汎用的能力_自分と課題に向き合うチカラ

能力要素	9. 自ら行動する力		10. 自己を受け止める力	
構成要素	主体的行動	行動を起こす	セルフウェアネス	独自性理解
能力の意味	持続可能な社会に貢献するため、目標を設定し、目標達成に向けて、多少困難であっても、進んで行動しあきらめず、最後までやりきる力		自分を肯定的に受け止め、行動に変えて行く力	
大学の活動で身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> ● リーダーとして 部活動やサークル、委員会で、これまでの先輩や過去を知る卒業生にも話を聞き、先人が成し得なかったことを見つけ、自分の代でやってみようという高い目標に挑戦してみる。 ● その他 例えば、就職活動に向けて、何をどうすべきか、周りの状況を見ながらではなく、自分のためにどうしたらいいかを考え、主体的に進めていく。 自らの学生生活が充実することが後輩の学生生活を充実させることだと信じ、自分で動き、その姿を後輩に見せていく姿勢を怠らないようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ● その他 自分の良い面や強みを洗い出してみる。自分の弱みや今後の課題も洗い出してみる。良い面に目を向け、強みを伸ばすことを念頭に、学習や学校生活の目標を立てる。過去の出来事から何を学んだかなども書きだしてみる。 ● リーダーとして 生み出した成果に対して、過去の行動や成果に否定的な要素だけに目が行きがちであるが、できたこと、できなかったことを客観的にとらえ、次の行動にどう生かすかを考える。 	

どんな場面で身につけるか、計画を立ててみよう

汎用的能力_自分と課題に向き合うチカラ

能力要素	11. 自己反省する力		12. 自信を生み出す力	
構成要素	謙虚さと誇り	遵法性・社会性	ストレスコーピング	自己効力感/楽観的思考
能力の意味	それまでの経験を振り返り、道徳的努力が足りないことや自分自身を見つめ、自己理解を深める力		他人を責めることなく、ストレスや感情をコントロールし、自分に自信を持つ力	
大学の授業で身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> ● 半年ごとや1年ごとなど、一定期間ごとに、勉強、クラブ活動など学生生活を振り返り、良かった点や反省点を言葉にする。 ● 改めて、麗澤教育の理念を学び、自分がどのような教育を受けて、社会にでるのか、考えておく。 ● 外部の社会人に麗澤教育の特徴を答えられるようにしておく。 ● 次の半年、1年をどのような勉強をするか、どんな履修を試みるか、単位修得だけの目的にならないように、学修計画を考え直す。 		<ul style="list-style-type: none"> ● 難しい課題や文献読破等、他者から言われたことではなく、自らが決めた学修目標を試行錯誤しながら、あきらめずやり遂げる。 ● 卒業研究、や発表、成績にまつわるレポート作成を先生の指導、先輩の支援を受けながらも、納得あるものに仕上げていくこと、常によりよいものを目指して仕上げて行くプロセスを経験する。 	

どんな場面で身に付けるか、計画を立ててみよう

汎用的能力_自分と課題に向き合うチカラ

能力要素	11. 自己反省する力		12. 自信を生み出す力	
構成要素	謙虚さと誇り	遵法性・社会性	ストレスコーピング	自己効力感/楽観的思考
能力の意味	それまでの経験を振り返り、道徳的努力が足りないことや自分自身を見つめ、自己理解を深める力		他人を責めることなく、ストレスや感情をコントロールし、自分に自信を持つ力	
大学の活動で身につけられる場面	<ul style="list-style-type: none"> ● その他 半年ごとや1年ごとなど、一定期間ごとに、クラブ活動など学生生活を振り返り、良かった点や反省点を言葉にする。 大学卒業時にはどのような卒業生として社会に出て行くかといった自己のイメージを持つ。 次の半年、1年をどうすごすかを決める。(勉強、クラブ活動、アルバイト等の計画) 振り返り内容を、思い切って、SNSで掲載してみる。 文字にすることで、整理されるのと他者への表明で、やらざるを得ない環境を作る。 		<ul style="list-style-type: none"> ● リーダーとして 難しい課題を試行錯誤しながら、あきらめずやり遂げる。 後輩にもやり遂げる経験を一緒になって考え、やりとげ、チーム全体がやり切り感から自信を生み出せるように常に考える。 ● その他 実習、学生プロジェクト、委員会、学祭出店などでの、葛藤を経験し、やり遂げる。 	

どんな場面で身につけるか、計画を立ててみよう